

海外自治体幹部交流協力セミナー2014（ニューヨーク事務所管内）

地方交流事業概要

テーマ： 地域資源を活用した都市魅力の創造と発信（尼崎版シティプロモーション）

10月22日（水）【尼崎市市長表敬/講義】

（1）尼崎市稲村市長表敬

稲村市長からの歓迎挨拶のあと、参加者が一人ずつ挨拶をした。

（2）尼崎市行政説明/市役所内視察

尼崎市都市変遷、現状およびプロモーションについての説明を受け、市役所2階にある「忍たま乱太郎」（プロモーション活動の一部）を見学した。



稲村市長表敬(参加者団長と)

10月23（木）【講義/視察】

（1）武庫川コスモス園

かつて工場地であったところを、市民の力を得てコスモス畑に生まれ変わった「武庫川コスモス園」。再開発について、市民を巻き込んだ取組を伺った。

（2）企業視察①

避雷針などを研究している、世界的企業「音羽電気工業」を視察した。

（3）企業視察②

尼崎に本社を置く洋菓子メーカーのミュージアム「エーデルワイスミュージアム」を視察した。

（3）尼崎市歓迎昼食会

日本の家屋を改造した食事処で、尼崎市主催の歓迎夕食会。日本の家の座敷、庭など家のづくりも体験した。

（4）工場夜景

工場の夜景を見学した。日油(株)・武庫川下流浄化センターは、かつての工場の姿をそのままに残す。夜にはともされる灯りを負の遺産ではなく、現代アートの的に市の活性化として「夜景ツアー」などを市が主催している。



コスモス園記念撮影

10月24（金）【視察】

（1）「全昌寺」「寺町」「文化財収蔵庫」「旧尼崎警察」

元々寺町であった尼崎市。その歴史についてボランティアから話を聞き、お寺では座禅を組み、お抹茶をいただくなど、日本の文化を体験した。



座禅体験

(2) 三和商店街

縦横無尽につながる商店街を、組合の方から説明を受けながら視察した。

シャッターの降りてしまった店舗については、若者が新たな展開と復活を図っていた。

(3) ホームステイ

視察後、市役所にホストファミリーも集合。参加者は、2泊3日のホームステイに出かけた。

10月25(土)【ホームステイ】

10月26(日)【ホームステイ/集合】

日本の家庭の味を味わってきた参加者が戻ってきた。

夕食時には、各々の体験談に花が咲き、また日本の家庭(生活)についても話が盛り上がった。



ホームステイから戻った参加者たち

10月27(月)【視察/意見交換会】

(1) 北堀キャナル

大学とのタイアップにより、水の浄化などを研究。今ではきれいな水でしか生息しない生物もいることを見せていただいた。

(2) 21世紀の森(パークセンター)

工場跡地を整備し市民の協力の下、緑化、E C Oを進めているセンターを視察。ここでも、尼崎市の市民とともに取り組んだプロモーションを見せていただいた。

(3) 総合文化センター

お手前を体験。お茶をたてる様子など、セレモニーについて話を伺うことができた。

(4) 意見交換会

セミナーの締めくくりとして、意見交換会を実施。尼崎市の取り組み、シティプロモーションについて、また最初の講義で聞いた教育についてなど話題は多岐に上った。参加者からは自分の自治体の経験を盛り込みながら、若者育成プログラムの構築、商工会議所を巻き込んだプロモーション、レクリエーション的な要素を含んだ継続性のある参加型プログラムの構築などの提案がなされ、受入自治体および参加者双方に有益な意見交換となった。



意見交換の様子